一般質問　町政を問う

青梅街道町道2号線入り口に右折レーンの設置を

谷　四男美　議員（住民）

質問　青梅街道から農芸高校方面の町道2号線に入る道には右折レーンがない。残堀川上部の平面を利用し広い空間があるのにその利用価値が充分機能していない。河川の上部には交差点等の築造が基本的に出来ないと聞いているが、都と再度協議し、交通環境改善のためにも右折レーンを設置すべきと考えるが答弁を求める。

町長　この交差点は、橋の構造上の問題や、バスベイの移設用地の確保が難しいとして、都の事業化が見送られた経緯がある。その後の協議でも、現時点での事業化は難しいとの回答にとどまっている。しかし、何の施策もなくては交差点の渋滞解消につながらない事から、信号機の点灯サイクルの見直しや、時差式への変更などを提案し、福生警察署を通じて公安委員会との協議を進めている。引き続き交通環境改善のため、町の提案を実現できるよう努力していく。

町長　交通環境改善のため努力していく。

右折車輌のため渋滞する吉野橋付近の交差点

会派名
民主政治の会
織和会
新和会
政和会
心産党
共産党
瑞穂の会
山清会
風の会
清風会
自民党
自民党
智政会
政治の会
改革みらいの会
改革ほのぼの会
住民と自治の会
住民と自治の会
公明党
公明党

質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文をそのまま掲載し、答弁は内容を要約して掲載しています。

災害に強いまちづくりについて

齋藤　成宏　議員（民主）

町長　行政連絡会において都に要望

質問　災害に強いまちづくりを目指して、各種施策を組み合わせて進めるべきと考える。また、国・都・近隣市とも、積極的な連携を図っていくべきである。そこで町長に次の3点を伺う。

問①　国道16号と岩蔵街道との交差点付近における集中豪雨・冠水対策では、国・都などとの一層の連携を図るべきと考えるが。

町長　行政連絡会において都に対し解消を要望しており、23年度、国道東側の都道の浸透舗装および側溝の改修工事を行う予定。

問②　道路への浸透性舗装の積極的導入を図るべきと考えるが。

町長　歩道部は、浸透舗装を採用している。土地区画整理事業では、道路下に雨水浸透施設を設置しており、また、駅西口広場の工事でも、歩道に浸透性のあるインターロッキングを使用する予定。

問③　沿道建築物への耐震化促進は、都との連携を図るべきと考えるが。

町長　都と区市町村で組織する「東京都耐震改修促進行政連絡協議会」の中で協議を開始している。

集中豪雨で冠水した岩蔵街道交差点

新たな市民活動支援制度の導入を

下野　義子　議員（公明）

町長　意識醸成の再構築も視野に入れ、手法を検討

質問　福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他社会貢献に係る活動や町の課題改善に寄与する活動で、営利を目的としないものを対象として、支援を希望する市民団体の活動提案を、住民の代表が審査し、適していると判断された場合、町が資金面の助成をするといった活動支援を導入すべきと考える。ボランティア団体やNPOなどの育成につながるとともに、住民と行政の協働によるまちづくりが図られると考える。町長の所見を伺う。

町長　現在、町の協働の形には、ボランティアとの協働やNPOによる自立型の協働、また、町が清掃業務やスポーツ振興事業などを地域やNPOへ委託する協働などがある。

これらに対し、22年度より教育委員会は、認定された事業をそれぞれの団体が主体的に企画・運営する「生涯学習推進のための住民提案型協働事業」を実施している。

協働にあたっては、お互いの自立を基本に進めるべきで、意識醸成の手法の再構築も視野に入れ、手法の検討を進める。

住民提案型協働事業として実施された講演会